

平成 28 年 1 月 21 日

あの災害を忘れない！後世に継承し、土砂災害に備えるために・・・

梅ヶ島災害 50 年実行委員会を設立します

本年は、昭和 41 年 9 月に発生した梅ヶ島土砂災害からちょうど 50 年の節目を迎えます。この節目を契機として、忘れかけた記憶を思い起こし、災害の実態を再認識すると共に、教訓として後世に継承し、地域と共に土砂災害に備えた地域づくりを進めていく必要があります。

このため、準備会を開催して「梅ヶ島災害 50 年実行委員会」を設立し、地域の皆様と幅広く連携した積極的な啓発活動など、未来を志向した取り組みを進めていきます。

1. 日 時 : 平成 28 年 1 月 25 日（月）10:30～12:00
2. 場 所 : 静岡河川事務所（静岡市葵区田町 3-108）2 階会議室
3. 構成組織 : 国土交通省静岡河川事務所 林野庁静岡森林管理署 静岡県
静岡市 梅ヶ島学区自治会連合会 大河内学区自治会連合会
（一）静岡建設業協会 （一）中部地域づくり協会
4. 添付資料 : 設立趣意書 議事次第

■問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 静岡河川事務所
総務課長 伊藤裕規 調査課長 細野貴司
電話 (054) 273-9100
FAX (054) 273-2228

※ 同様の内容は下記HP「記者発表」でご覧いただけます。
<http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/>



梅ヶ島災害50年実行委員会

設立趣意書

昭和41年9月25日、安倍川上流域に異常な豪雨をもたらした台風26号によって梅ヶ島温泉では土石流が発生し、旅館など11軒の家が壊され、26名もの尊い命が奪われたほか、道路や農作物、山林などにも大きな被害を受けました。あの惨事から年月が流れ、今年9月で50年を迎えます。

梅ヶ島温泉をはじめ安倍川流域では、この50年間、砂防・地すべり対策、治山対策、交通網の整備及び防災情報施設など、インフラ整備が進んだことで、地域の安全度が高まり、大変住みやすい地域となりました。

しかし、一方で、災害に対する危機意識が年々薄れつつあるのも事実です。また、近年では、異常気象等に起因する集中豪雨や局地的な大雨が、日本の各地で観測されており、安倍川源流部に日本三大崩れの一つである大谷崩に代表される重荒廃地を抱える中、そのような大雨に見舞われた場合、大規模な土砂災害が起こる可能性は依然として大きいと言えます。

この50年の節目を契機として、忘れかけた記憶を思い起こし、災害の実態を再認識すると共に、教訓として後世に継承し、今後も地域とともに土砂災害に備えた地域づくりを進めていく必要があります。

このため、上流域のみならず下流域も含めた地域の皆様や関係機関と幅広く連携した積極的な啓発活動など、未来を志向した取り組みを進めていくために「梅ヶ島災害50年実行委員会」を設置するものです。

日時：平成28年1月25日（月）10:30～12:00

場所：国土交通省静岡河川事務所 会議室

梅ヶ島災害50年 実行委員会（設立準備会）

議 事 次 第

1. 開 会
2. あいさつ（主旨説明）
3. 実行委員会設立
 - 1) 実行委員会設立趣意書（案）
 - 2) 実行委員会規約（案）
4. 議事
 - 1) 事業内容
 - 2) 今後の進め方
 - 3) その他
5. 閉会